



2023年度

理事長総括

一般社団法人飯塚青年会議所

2023年度 第70代 理事長

多賀谷 勇気

TAGAYA YUUKI



70周年という節目の年に飯塚JCIとして大切にしたいところ

69年間という長い時間をかけ先輩方が培われてきた奉仕・修練・友情が詰まったバトンを引継がせて頂き、2023年度はそれを『大いなる恩』として捉え、お関りを頂いてきたすべての方々に報いていこうと活動を行いました。その活動は口で言うほど簡単なことではなく、大きな挫折も味わいました。しかし、良かったことも上手くいかなかったこともすべての活動はそれぞれに意味を成し、次の世代に向けて引継がれていくべきものだと思信しています。

2024年度への飯塚JCIに向けてのメッセージ

70年間という大きな節目を過ごし、今まさに新しい時代に向け突き進まれて行かれる現役メンバーの皆様へ。この国は、この世界はこれからの10年で過去数100年間の歴史の変革のレベルを大きく超える大革命期を迎えます。あらゆる常識が根底から覆され、この国のあり方も劇的に変わっていくことが予測されています。しかし、どんな時代においても我々は地域をリードしていく存在でなければなりません。常に最先端の情報を扱い、誰よりも行動してください。そうすることで世の中に必要とされる組織であり続けたいです。

シニアクラブの皆様へ

2023年度は飯塚JCI創立70周年や日本青年会議所への会頭の輩出と、我々現役メンバーにおいては本場に大きな担いを頂いた年でありました。この一年の特異性がもたらす利益を最大限に活かすために、先輩達が積み上げてきた基金の取り崩しを行い、シニアクラブより支援金を賜り、様々な場面で多くの方々にお力添えを頂き、多くの成果を残すことができました。このようなご支援があったからこそ、2023年度のやるべき活動に精一杯努めることができたことをメンバーを代表し、感謝申し上げます。

入会候補者へのメッセージ

『案ずるより産むが易し』という言葉があります。この若手経済人が集まる組織において、学べることや気付けることはあなたの想像を必ず超えてきます。金銭面や時間の余裕に多少の不安がある程度で逃しいい機会だとは思いません。色々な不安を考えるより、まずは一歩踏み出してください。そして、自分の目で見て、体験して、活躍をして、その上でこの組織が何だったのかということをお評価してみてください。その時、多くの経験を積み大きな成長をしているあなたは、私と同じことを今度は後輩に話しているはずですよ。JCIの懐は深いですよ。



2023 JCI ASPAC ジャカルタ大会



創立70周年記念 事業



創立70周年記念 式典



臺東縣臺東國際青年商會交流事業

2023年度 出向者御礼

公益社団法人日本青年会議所
2023年度 第72代 会頭

麻生 将豊

ASO MASAHIRO



シニアクラブの皆様へ

日本青年会議所で会頭を務めるに当たり、様々な形でのご支援賜りましたこと、心より感謝申し上げます。

お陰さまを持ちまして、無事に2023年度の会頭を勤め上げることができました。また、世界会議において最優秀会頭賞を受賞することができましたこと、重ねて感謝申し上げます。

次年度に於きましても、2019年以降の現役で残る直前会頭として、全力で現役を支えてまいり所存ですので、今後ともご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

飯塚JCIメンバーの皆様へ

日本青年会議所の会頭職を務めるに当たり、メンバーの皆さんに様々な形でご支援いただいたこと、心より感謝申し上げます。

出向は皆さんに平等に与えられる機会です。そこに出たから全てがプラスになるわけではありません。しかし、そこで得た経験や知識を活用することはできますし、何よりそこで得た友人や人脈は無形の財産だと私は思います。

是非なにかあれば私を頼ってください。何かしらの形で皆さんにお伝えできることがあると思います。2024年度も私は現役で残っています。直前会頭としての公務もありませんがLOMに帰れないとは思いますが、見つけたら是非声をかけて聞いてみてください。きっと何かを伝えられると思います。

そして、この思いや考えを持てるようになったのも、LOMのメンバーの支えを得て、出向したからだと思います。

是非、JCIから出向という船に乗ってみてください。そこには、LOMにはない学びとフロンティアが存在しています。

活動報告



1月 京都会議



2月 47ブロック会頭公式訪問
スタート 茨城ブロック



5月 2023 JCI ASPAC
ジャカルタ大会



6月 駐日ウズベキスタン
共和国大使館訪問



7月 サマーコンファレンス



8月 九州コンファレンス



10月 全国大会東京大会



11月 世界会議
※麻生会頭が世界会頭賞を受賞



12月 岸田文雄内閣総理大臣
表敬訪問

Challenge

一步踏み出す勇氣

一般社団法人飯塚青年会議所
2024年度 第71代 理事長

深田 良介

FUKADA RYOSUKE



事業計画

- CHALLENGE・4・VISION STEP ONE 事業の企画・実施
- JCだからこそできる例会の企画・運営
- 「IIZUKA 拡大方式」の確立
- アカデミーメンバー(新入会員)への理念浸透、飯塚未来創造事業の企画・実施
- 嘉麻市の魅力発信事業の企画・実施
- 持続可能な桂川町の創造事業の企画・実施
- 新春祝賀会、創立記念、忘年会の運営
- 台東国際青年商會との継続的な国際交流
- 飯塚JCの魅力を最大限に発信する常時広報活動
- 飯塚JC全体で取り組む会員拡大
- 飯塚JC全体で取り組む山笠運営

はじめに

我々、一般社団法人飯塚青年会議所(以下、飯塚JC)は昨年7月に創立70周年という素敵な節目を迎えることができました。これも偏に70年間という歴史を紡いでこられました。敬愛してやまない諸先輩方のご尽力のお陰だと、心から感謝を申し上げます。その歴史には、「飯塚JCらしさ」というものが色濃く受け継がれています。本年度は75周年、80周年へ向け「飯塚JCらしさ」を崩すことなく、新たな一步を素晴らしいカタチで踏み出すことを強く約束いたします。

自らを律して未来を変えるチャレンジ精神

飯塚JCメンバーの皆様は「なぜ」JCに入会し、「なぜ」活動や運動を行っているのでしょうか。もちろん環境や立場が違う中、考え方はひとそれぞれだと考えます。先輩に勧誘され仕方なく、なんとなく入会した方。自己成長や人脈形成のため入会した方など、動機は様々あるでしょう。当時25歳であった私の入会動機は自己成長のためでした。では、なぜ自己成長をしようと考えたのか。それは先代から引き継ぐ稼業の発展のためでした。では、なぜ稼業を発展させたいのか。それは創業55年を迎える弊社がこれまでの歴史で地域の方々、従業員の方々にお世話になってきたことへの恩送りとして、地域に還元できる企業を目指し、愛する地域の美しい環境と人々の豊かな暮らしを支える未来創造企業となるためでありました。その明確な理念を持っているからこそ、その目的達成のための手段の一つとして私はJCを選び入会しました。だから私は10年間、本気で、全力で、真剣にJCに向き合ってきたのです。皆様にも、今一度、自身の根本(なぜ)を見つめ直していただきたいと考えます。

幼少期には皆様にもあったであろう「なぜなぜ期」。好奇心旺盛で純粋な心で何事にも興味を持ち、自分の可能性に制限をかけず、わんぱくで目を輝かせていたあの時期は毎日、毎年、大きく成長していたと想います。それなのに、大人になるにつれて失敗を恐れるあまり、チャレンジ精神を失い、一步踏み出す勇氣を持ってないのではないのでしょうか。今一度、幼少期を想い出し、チャレンジしようではありませんか。それこそが自己成長への一歩であり、稼業の発展、愛する地域や未来を担う子どもたちへの贈りものであると考えます。

人生は長いようで短くあつという間に40歳50歳になるでしょう。その際後悔しないよう、青年の今!共に歩みましょう。その一歩が未来の自分や稼業、地域を必ず発展させると信じて。Just do it.

CHALLENGE・4・VISION STEP ONEの実動

私たちはこれまで独自のビジョンを掲げJC運動を繰り広げてまいりました。しかしそれはJCが主語になりがちであり、そのビジョンはまちの方々と共に共有できていたとは言えないものでした。そこで、昨年の70周年を機にまちのステークホルダーと共に「まちの5カ年ビジョン」を策定しました。このビジョンは掲げて終わりではなく、新たな一歩として実動するビジョンとし、共感の輪を広げてまいります。

TRY・4・VISIONの一つである「地域で子どもを育てスマイリーあふれるまち」をSTEP ONEとし44で実動させます。

ひとの心を動かし、行動を変えることで、愛するこの地域がより良い方向へ進むと確信し、ステークホルダーと共に運動を展開してまいります。

JCだからこそできる例会

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を経て、例会への出席率が低下している現状があります。これは世の中の考え方が多様化すると共にJCの在り方が再考されたからだと考えます。大抵の情報は民主化され誰でも得ることができる時代になり、JCの例会に出席する意義を追求しなくてはならないフェーズにきたのではないのでしょうか。

そこで、式典に関しましては慣例に囚われることのないよう他LOMの情報を集め常に新しい運営にチャレンジしてまいります。これまでの当たり前を疑い、成功事例に引っ張られることのないよう失敗や成功を積み重ね、磨きのかかったパトンを毎月渡すことで、より良い式典になると考えます。そして、アワーに関しましてはメンバーシップに特化した構築を行います。一般的に開催されているセミナーを受講すれば得ることができるアワーではJCとしての魅力は半減し、出席率の低下に繋がってしまうのではないのでしょうか。テーマをビジネスと会員開発の2つに絞り、JCだからこそできるJAYCEEのためのアワー構築を行います。ビジネス例会ではJCのスケールメリットを活かした構築を行い、会員開発ではポジティブマインドを軸にJCを基盤とした会員開発を行います。そうすることによりJCの魅力や価値観を更に感じていただくメンバーとしての誇りを持っていただけるものと確信し毎月の例会を大切に運営してまいります。

「IIZUKA 拡大方式」の確立

今後3年間の卒業生は2024年度から順に15名、12名、9名の計36名となり、1年平均12名の拡大をしなくては現在の人数を保てません。では、私たちはなぜ会員数を保たなくてはならないのでしょうか。まずは、飯塚JCの活動や運動を支える会計面です。現在の会員数を割ると会計を圧迫し、地域の課題を解決する運動構築に大きく影響を与えます。次に、飯塚JCの魅力の一つでもある、ひととひと

とで磨かれることです。飯塚JCメンバーによくお聞きする話ですが、メンバーが一生懸命に何事にも取り組む姿を見て刺激をもらい勉強になり活力になった。や、仕事で困ったときにメンバーが解決してくれた。等々、メンバー同士が磨き合い、支え合っているこの環境は飯塚JCの魅力であり価値だからです。だからこそ、会員数の減少は避けなくてはなりません。

その中で、ただやみくもに会員拡大するのでは不適正な人数や拡大スケジュール等の研究を重ね、「IIZUKA 拡大方式」を確立し、未来の飯塚JCへ残していきたいです。また、入会オリエンテーションの再構築を一から行い、JCの理念を明確に浸透いたします。この仕組みづくりが持続可能な会員拡大へと繋がり、未来永劫飯塚JCを支える財産になると考え進めてまいります。

アカデミーメンバー(新入会員)への理念浸透

私はアカデミーメンバーにご挨拶させて頂く時に必ず考えることがあります。それはその方の年齢や性別に限らず、これまでのような人生を過ごして、どのような困難を乗り越えてきたのだろうかということです。私はその経験を知りたいし、学ばせて頂きたいと思えます。皆様はどうでしょうか。JCの先輩だからといって、JCの役職を担っているからといって決して立派なわけではありません。私たちはアカデミーメンバーから多くの学びを得ることができます。そして、私たちがJAYCEEとしてアカデミーメンバーへ伝えなくてはならないことが多くあります。皆様はJCの先輩としてJCで学んだ理念をアカデミーメンバーの方々に浸透させていますか。魅力的な先輩として映っていますか。一人ひとりのJCライフを考えると1年目はとても肝心であり、その後のJCライフを創ると言っても過言ではありません。その大切な時期に、活動として多くのメンバーと関わる機会を創出し、JC活動や運動に出向きやすい環境を整え、お互いが学び合える場を創ります。

そして、「社会の課題を解決することで持続可能な明るい豊かな地域を創る」をキーワードに飯塚市で事業を開催いたします。アカデミーメンバーに、この事業を通じてリーダーシップの開発と成長の機会を提供し、飯塚市の現状と課題を追求することでJCが何をやる団体なのかを明確に学んでいただきます。

嘉麻市の魅力発信

福岡県の調査によると嘉麻市の人口は2020年の35,473人から2045年には18,457人と25年間で約50%減となる結果がでております。また、嘉麻市へのヒアリング調査でも人口減少が何よりも課題であることが判明しました。この人口減少を解決していくには交通インフラの整備や医療、住宅の補助、企業誘致や学力の向上など、様々な切り口からアプローチを施していかなければなりません。これには行政が得意とする部分が存在すると共に、我々JCが共に運動を創ることで大きくアプローチできるものがあります。その一つが嘉麻市最大の魅力である大自然を活かした運動を創ることです。この自然を活かした運動を創ることにより、いつかは住みたいと思えるまちづくりを行います。しかし、この運動を創れば人口が増えるのでしょうか。私はそれだけでは無理だと考えます。先述した通り、様々な切り口でアプローチしていかなくてはなりません。全ての要素が交わり合っ人口増加への一歩になるのではないのでしょうか。私たちはその一助となるべく一年間全うしてまいります。大自然を活かした運動では対象者を地域外の方々とも定め、延いては国外に目を向けることも検討します。そしてJCのスケールメリットを活用するとともに、行政や他団体と共に運動を展開してまいります。

持続可能な桂川町の創造

桂川町では、令和3年から令和12年までの10年間、まちづくりの総合的な指針となる第6次桂川町総合計画を策定しております。この計画は、人口減少・少子高齢化に密接な関係がある6つの基本目標からできており、この基本目標の全てに一致する重要事項は「若い力」です。しかし、桂川町へのヒアリングの結果、若者の数が減ったという問題と同時に、若者の郷土愛が弱くなっていることが大きな問題であることが判明しました。そこで、地域を取り巻く社会情勢が大きく変化する中、我々飯塚JCと行政・関係団体・町民が一体となった新たな時代にふさわしい「若い力」を取り入れた、まちづくりを推し進めてまいります。そして、そこに携わった若者が生まれ育った故郷に愛着と誇りを持ち、未来の桂川町を創っていくことが持続可能な桂川町を創造すると確信し、運動を展開してまいります。

最後に

本年度、創立71年目という新たな一步を踏み出します。70年間の歴史に心から感謝し、今後の飯塚JCへ最高の繋ぎ役となるべく、1年間全力で歩みを進めてまいります。メンバー一人ひとりがJAYCEEである意義を明確に認識することで、飯塚JCの足元を固め、頑丈な基礎を創り、磨きのかかったパトンを高い位置で次年度へお渡しいたします。

不器用でもいいのです。青年として熱い情熱を持ち必死に取り組む姿は人々、仲間、地域、社員に必ず勇氣と感動を与えるものとなるでしょう。メンバーの成長こそが地域や稼業を発展させると信じ、全力で邁進してまいります。

「幸せな春が咲きますように…」



Voice Index

CHALLENGE・4・VISION

「地域で子どもを育てスマイリーあふれるまち」
子どもはこのまちの未来だ!

飯塚市

新入会員にJCの価値を伝えよう!
～飯塚市の未来を共に築く～

嘉麻市

「アウトドアシティ宣言」
嘉麻市の魅力を発信

桂川町

「若者の郷土愛」
持続可能な運動を展開

CHALLENGE・ 4・VISION

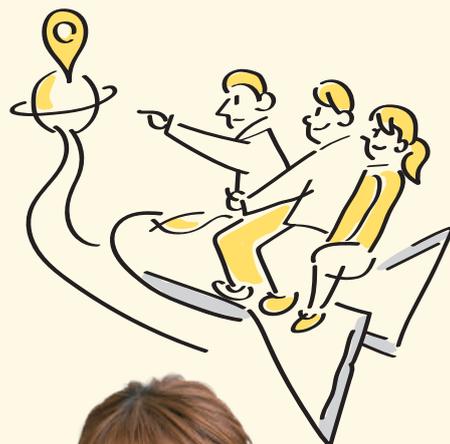
「子どもはこのまちの未来だ!」

地域で子どもを育てスマイリーあふれるまち

このビジョンに向かって、子育て世代だけではなく、このまちに住む人々が一歩踏み出し、手を差し伸べ、笑顔が醸成されていく街を創造し、行政・ステークホルダーの方々と共に展開してまいります。

- ①このまちに子どもの笑顔があふれ、子どもの夢をふくらませるようなまちづくり
- ②子育て世代が暮らしやすく、働きやすいまちの実現
- ③地域全体で安心して子供達を育てる環境を作るための仕組みづくり
- ④子育て世代の母親が社会進出を促進するための環境づくり

常務理事（2024年度担当） 小林 奈々



アクションプラン
年間フレーム→



2023年の活動

22名のステークホルダーの方々と議論を重ね、まちの中期ビジョンである5か年ビジョン（2024～2028）を策定しました。



ビジョナリー
シティ会議 議長
(2023年度担当)

伊藤 哲



↑5か年ビジョンのWEBページ





未来創造委員会

2018年委員長 × 2019年 室長 × 2024年委員長 三者特別対談

新入会員にJCの価値を伝えよう! ～飯塚市の未来を共に築く～

現在の仕事について

穂坂 現在の仕事については穂坂牧場といって食用の肉を生産しています。
野見山 今インターネット関連事業と新しく買取りユース事業を始めました。
今里 私は薬剤師として15年くらいですけど4年前から自分の薬局を持たせてもらっています。

JCに入った経緯

穂坂 元々、JCの事業で農業系の事業をするというので話を聞かされてくっついて担当者が農場に来た人やけど、ここで話だけじゃわからないから委員会に来てくれてオフサイバー参加したのがきっかけです。そこからもう入ったら「みたいなの流れでそのまま入ったね。」
野見山 元々、JCの先輩から誘われて半年くらいは断りよったけど、やってみたらわからんよねって思ってたけど、知り合いとかもいたからその流れで入るようになった。
今里 最初先輩に誘われて、その時は断ったけどその後JCメンバーと会ったときに誘われて自分のにもそろそろ何かせなかなって思ってた時だから入りました。

JCでの思い出

穂坂 楽しかったり辛かったりは物凄くいっぱいあったね。もちろん事業したときもよかつたし自分が委員長したときの事業とか最後の年の室長としての事業とかも楽しかった。事業じゃないけど、最後の持ち出し(委員会メンバーで所属委員会の長に対して行う慰労会)の時は最高やったね。号泣した。人生でこんなに号泣するってことないくらい感動したかな。俺も最初の1、2年諦めるって言ってたからね。
野見山 最初は俺も正直辞めようと思ってた時期があったね。会社の業績も上向いてきたわけでもない状態に入ったときボランティアとかしる場合じゃないと。最後はブロックの委員長したけどそつちはそつちで大変だったけど。



2018年 会員拡大アカデミー委員会
委員長 野見山 勉



2019年 スポーツリズム特別室
室長 穂坂 貴彦

JCでの活動

穂坂 事業は自転車イベントとかしよつたね。活動の中ではスイッチを入れる係をしよつたねって思いました。でもやっぱりスイッチ入れられる人が絶対必要なんよ。初めみんな嫌々しよつて、だんだん嫌々を受けてなんとかルールとか規律かかっていくからね。それじゃダメって言うてくれる人がおらんと、スイッチを入れてくれる人がおらんと、JCって懇親会のとどこかに寄つてきてくれるやん。仲良い人たちが居る。ああいう仕組みはいいなって思っつた。
野見山 事業はトリアス山でお店を中と外とでスペース借りて、嘉麻市・桂川町・飯塚市の企業さんに来てもらって飲食の提供や販売を行つたね。飯塚市以外でござってせんと飯塚の魅力を発信できなかったって思つてやり始めたけど、もちろん外でするのはおかしって反対もされた。それでも、外でやりたいて言うてやらせてもらった。
今里 私の来年やろうとしてる活動は、事業自体は飯塚市の課題を入つてきたメンバーと解決することと、JCの理念を早い時期から伝えて、JCってこういう団体ですよっていうのを事業を通じてやっていくことと思つています。

JC活動で学んだこと

穂坂 俺は頼られる大切さを逆に学んだかな。人から頼られることってそうでもない。会社の経営者や役員の人が多いけどJCではみんな立場は同じだからね。いくらかアカデミー(新入会委員)であっても基本的には社会的な地位はみんな一緒なわけやん。それはもう当然同じと考えて基本的にはJCに入ってるんだから、同じ人間から頼られないかん存在にアカデミー委員長はならないかなって思つた。そのためには当然自分がアカデミーメンバーにも絶対ついて行くわけよ。傍から見ても分かるよ。他のなんかあつても基本的に例会で打ち上げありますよってなつても絶対集まる訳ですよ。アカデミーとかは特にな。アカデミー委員長は、俺は一番絶対好きって思っつた。面白い。俺も最後相当感動したもんね。打ち上げとか



2024年 未来創造委員会
委員長 今里 啓二

今里委員長へアドバイス

野見山 さつき言つた言葉にきつるね。卒業する時に絶対に辞めればよかつたっていう人聞くと聞いてない。アリとキリギリスじゃないけど入つてなかつたらキリギリスやん。人生にとつて例えば仕事やったり家庭であつたり寒い時期が来た時にのたれ死ぬんじやないかなって言うのがあつたと思っつた。JCってすごいなんか痛めつけられれば強くなつていく。気が付けば会社の業績も上がつていくし、それがそ時間もつくれるようになってきて、仕事も忙しんで、今までどうしようかって言うのがない。それを時間とかあるやん?俺、卒業した時に自分の中の豊かな社会を実現できたねって思つた。アカデミーメンバーは入つてきたら大変つて思っつた。うけどほんとうすごい未来が待つてつよつていのは言いたいね。

穂坂 想像は難しいけど、入つてすぐあれはいいって言うのは難しいけど、委員長の言葉としてやっぱり当時の室長としての言葉を、やっぱり自分のその時の委員長はその時のメンバーに対する自分の言葉として、絶対みんな基本的にも同じ言葉を伝えたい。とにかくもやっぱり関係を常にもつとことと思つた。絶対途切れたらいかんきた。それをしつこくとかしやなく委員会来てとかしやなくてなんかしらのきつかけを作つて自分から声かけて、顔を合わせて、委員長は俺の言葉として伝えてあげるのが一番。それが一番の最高のアドバイス。

嘉麻市の魅力発信

KAMASHI no MIRYOKU

LET'S GO

みんなで広げよう アウトドアシティ宣言

嘉麻市市長 × 嘉麻市の魅力発信委員会 委員長 特別対談



(笠置委員長) 嘉麻市について、嘉麻市が公表しているアウトドアシティ宣言について、調べさせて頂きました。その中で地域の方々にアウトドアシティ宣言が深く浸透していない、という課題を感じました。自分たちは嘉麻市の魅力を発信していくという理事長所信から、まずは地域内の方々にアウトドアシティ宣言を浸透させていき、嘉麻市の魅力を発信していく人たちを増やしていこうと考えてます。一緒にやることで共感を求めたらうためにも、行政の方や他団体の方、地域内の方を巻き込んでいくイメージで、嘉麻市の魅力の詰まったものを提供したり体験してもらったりすることで、事業を構築していきたいと思ってます。最後には事業の形を発表できたらいいな、って思ってます。

(赤間市長) 民間の社長や後継者が多いと思うけど、多様な異業種間の中で色々な情報交換をしている。役所の若い職員や産業振興課の担当者とも交流ができればと思うので。意見交換の中で感じたもの、形には残らない自分の経験というか、それを聞いて自分がどう活かせるか。目に見えないけど、知的財産じゃないけど、そういう部分は期待してます。その辺もうまく融合させていきながらできたらいいなと思ってますので、よろしくお願いします。



(笠置委員長) よろしくお願ひします。まだ自分も嘉麻市のことを全然知らないままですが、観光協会の方々にも色々教えてもらいながら1人の観光客として、先日ヒュッゲを見学させて頂きました。

(赤間市長) 行ってわかったと思うけど、役所の職員ではなく街づくり観光協会が主として、体験型の商品開発ではないけど様々なことに取り組んでいる。行政の立場としては本当に助かっているけど、地元の人になかなか行かない。まだストーリー性を持ってはいないけど、そんな課題に対して嘉麻市としても何年もかけて取り組んできた中でコロナがあったりして。そこまで種を巻いてやっとながら出したと思ったら、4年間で枯れてしまった。そんな中でこのような機会もありますので、飯塚青年会議所にもお願ひをしないといけない部分もあると思います。それまで、私の若い頃は飯塚青年会議所の活動は飯塚中心だよな、というイメージしかなかった。しかしだんだん世情も変わってきて、飯塚だけじゃなく桂川も嘉麻も、っていう視野が広がって今日みたいに話す機会も増えてきている。それはすごくありがたいと思うし、また今からどのように世情が変わるかかわからないけど、こういう関係は私自身も、また職員とも続けていきたいと思ひます。





桂川の子供たちに 郷土愛を

桂川町町長 × サステナブル桂川創造委員会 委員長 特別対談



〔高田委員長〕 先日、井上町長から意見をお聞きし、桂川中学校にお願いしてアンケートを取らせてもらいました。集計結果を元に、僕は中学生に桂川町のことをもっと知って頂きたい、桂川町が抱えている課題とかを中学生に考えて頂くこと、今の中学生たちに郷土愛が芽生えるのではないかと。

〔井上町長〕 小学6年生を対象にそういう取り組みをしたことがあるんですよ。グループを組んで、町の現状と課題をまとめて発表まで。そのためには色々な調査があり、話し合いが必要ですよ。その時に、面白いアイデアが出てきたことは確かです。町のことを知らない子供たちがいるというところから桂川町の取組についてを3年くらい続けて勉強会をやったんですよ。それを中学生でやるという期待感はあるのですが、私自身が1つ心配するのは、中学生に町の現状とか課題、今何をしようとしているのか、どういう方向に進もうとしているのか、そういったことについて勉強する時間が持てるかどうか。

〔高田委員長〕 確かにそういう学習の場面も必要だなと、今感じました。実際にそういう活動の際には、レクチャー、課題のまとめ、調査に、解決への話し合い、という流れで協力頂けたらいいなと思うんですけど。

〔井上町長〕 そこですよ。いいタイミングが必要ですよ。私も1年に1回は桂川町内の小中学校の先生



方に集まってもらい、今の町の現状や先生方に望むこと、そういう話をしているんですよ。今先生たちが言われているのは、中学生との機会ですね。私としては王塚古墳を1つの教材としてくれと、お話ししたこともありましたね。

〔高田委員長〕 王塚古墳は特別史跡という考古学的にすごく有名で、考古学に興味のある方が主な来訪者ということでしたが、実際桂川町に住む人が休日そこを過ごすような場所というか、王塚古墳と資料館、公園がどういう風になってほしいかっていう展望というか…。

〔井上町長〕 一番肝心なことはやはり古い文化遺産とどうして。ところがそこには、保存と活用という両端の考えがある。保存整備の時にそこが意見の分かれ目となって、どういう風に整備をするかという議論の時に専門家の意見ではそのままの状態にするということ。入り口も何もかも、そうすると、人間が入れなくなる。しかし当時の町長は、それではただそこにあるだけだから、どうにもならない。私たちが中を見ることができる。そういう風にしてほしいという想いで最終的にできたのが、見ることでできる今の形なんです。私もこういう貴重な文化遺産がこの地にあるんだ、ということを知ってほしい。私としてもレプリカではなく本物を見せ、子供たちに自分のふるさと桂川にこれだけのものがあるんだ、ということを感じてほしい。



JCを知る、JCに学ぶ

飯塚JCの事業や、そこで活躍する人を紐解いていく。
飯塚JCについて詳しくわかる!

青年会議所の特性

青年会議所には、品格ある青年であれば、個人の意志によって入会できませんが、20歳から40歳までという年齢制限を設けています。これは青年会議所が、青年の真摯な情熱を結集し社会貢献することを目的に組織された青年のための団体だからです。会員は40歳を超えると現役を退かなくてはなりません。この年齢制限は青年会議所最大の特性であり、常に組織を若々しく保ち、果敢な行動力の源泉となっています。

各青年会議所の理事長をはじめ、すべての任期は1年に限られます。会員は1年ごとにさまざまな役職を経験することで、豊富な実践経験を積むことができ、自己修練の成果を個々の活動にフィードバックさせていくことができます。青年会議所におけるさまざまな実践トレーニングを経験した活動分野は幅広く、OBも含め各界で社会に貢献しています。たとえば国會議員をはじめ、知事、市長、地方議員などの人材を輩出、日本のリーダーとして活躍中です。



現役会員がお答えします!



会員拡大委員会 委員長 吉原 正和

Q.飯塚JCってどんな組織なの?

A.飯塚JCでは37歳まで入会することができます。全国には678の青年会議所があり、約30,000人の会員が所属しております。飯塚JCも86名のメンバーがいます。

Q.どんな人達が入っているの?

A.飯塚JCには様々な業種の方がいます。製造・小売業、建設設備業、サービス業、医療関係、土業などの方々が在籍されています。

Q.入会することで経験できることは?

【委員会】

1年間所属して活動する委員会があります。委員会内で定期的に集まって会議を行い、活動や事業の打ち合わせがあります。

【理事会】

組織の意思決定機関となる場です。メンバーから選ばれた理事が参加することができ、発言権や投票権を使って組織としての方向性を決めていきます。準会員期間の間に参加することができます。

【例会】

毎月開催される会で、メンバーの意識統一、学びのきっかけを作る、事業のトレーニングなどを目的としたための会となります。

【総会】

飯塚JCとしての重要な決定事項を決める場であり、青年会議所の最高決議機関となります。

飯塚 JC
会員拡大
詳細は
コチラ!



入会までの流れ

入会申し込み	必要書類を提出します。
理事会審議	理事会にて仮入会(準会員)を審議。
仮入会(準会員)	仮入会(準会員)期間は3ヶ月。オリエンテーション、例会、委員会出席、理事会傍聴などにご出席ください。
理事会審議	理事会にて仮入会(準会員)期間の出席状況などをチェックし、正式入会を審議。会費等につきましては、お問合せください。
正式会員	晴れて、正会員です。例会にてJCバッジの授与式があります。
正式配属	各委員会に正式メンバーとして配属されます。共に頑張りましょう!

入会のメリット *Merit*

昨今の経済低迷化の中、必要とされているのは私たち若い世代の活力であり、それぞれ個人の資質を向上し、企業に還元することでより良い世の中が実現されると私たちは考えております。

青年会議所という団体は、時代の流れを受けより地域社会に必要とされる運動を展開しながら、地域社会の発展を真剣に考えている団体なのです。今までも本場に多くのメンバーが在籍し、それぞれが地域社会や国を舞台に今も活躍しております。

入会に際して所属されている

企業・経営している企業の形態や規模は入会に際して一切関係はありません。

個人経営の方から、一般サラリーマン、OLの方たちから、企業の経営者、役職者まで幅広い多くのメンバーによって構成されております。

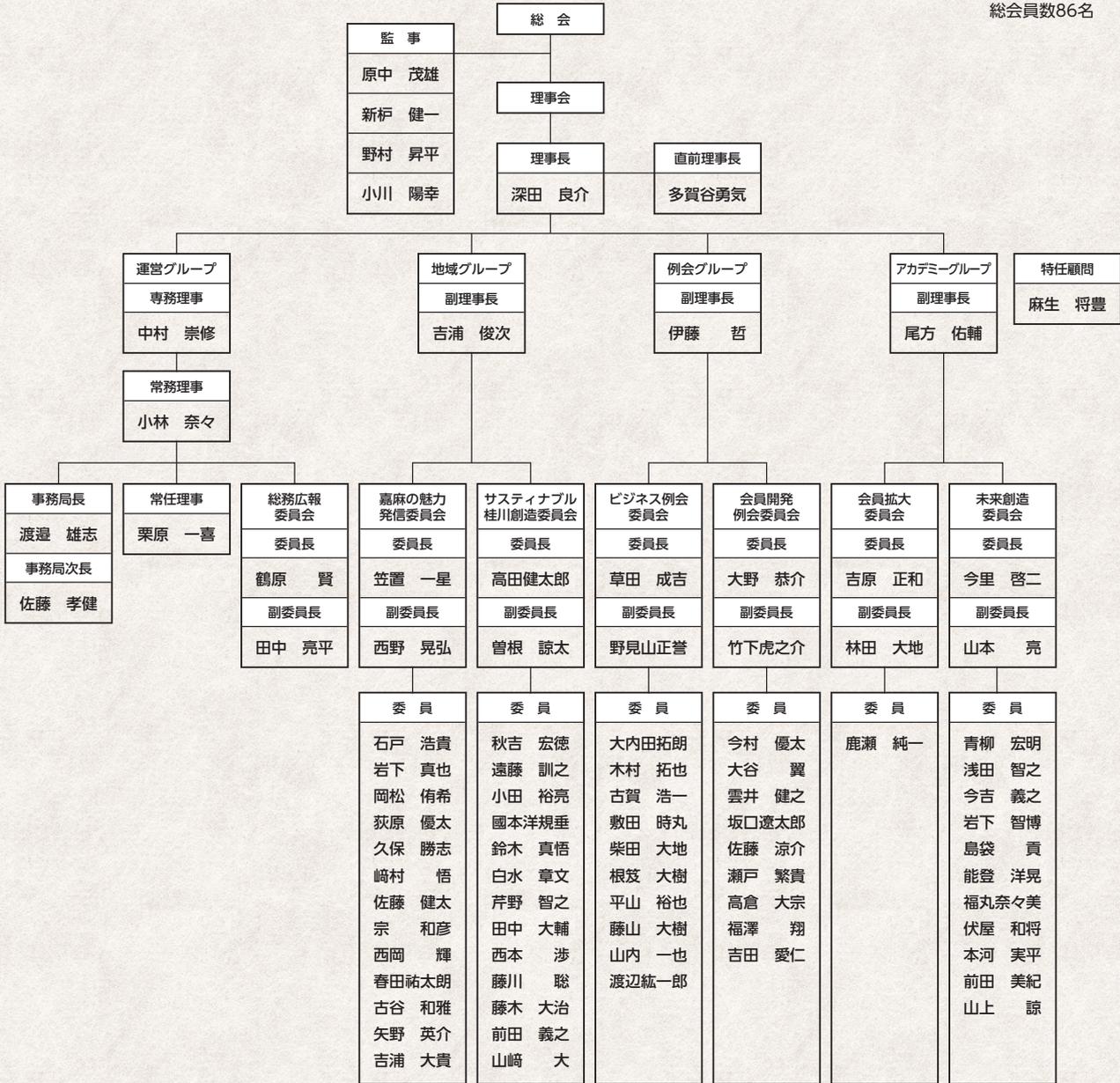
この困難とされる時代だからこそ、自分に投資し自己を成長させ、一緒にまちづくり運動を通じて更なる企業の発展を目指していきませんか?

このページをご覧になった方たちが、私たちと一緒に活動できることを切に願っております。



2024年度組織図

総会員数86名



2024年度出向者

公益社団法人日本青年会議所

- 直前会頭 麻生 将豊
- 組織グループ
- 褒賞委員会
- 会計幹事 尾方 佑輔
- 佐藤 涼介
- JC教育推進委員会
- 伊藤 哲
- 大野 恭介
- 経済グループ
- サマーコンファレンス特別委員会
- 原中 茂雄
- 地域経済活性化会議
- 吉浦 俊次
- 笠置 一星

- 社会グループ
- 全国大会運営会議
- 古谷 和雅
- 総務グループ 渉外委員会
- 草田 成吉

九州地区協議会

- 副会長 原中 茂雄
- 人財育成グループ
- グローバル人財育成委員会
- VC 國本 洋規垂
- 芹野 智之

福岡ブロック協議会

- LOM連携グループ
- ブロック大会運営委員会
- 野村 昇平
- 吉浦 俊次
- 高田 健太郎
- 古賀 浩一
- 前田 義之
- 山内 一也
- 今村 優太
- 敷田 時丸
- 田中 大輔
- 西本 涉
- 遠藤 訓之

- 第2エリア担当副会長 新栞 健一
- 全国大会支援委員会
- 伊藤 哲
- 尾方 佑輔
- 今里 啓二
- 吉原 正和
- 崎村 悟
- 次世代グループ
- JC活性化委員会
- 本河 実平
- 山上 諒
- 浅田 智之
- 小川 陽幸

- 未来創造委員会
- 栗原 一喜
- 田中 亮平
- 春田 祐太郎
- 吉原 正和
- アカデミーグループ
- アカデミー委員会
- 岡松 侑希
- 西岡 輝
- 吉浦 大貴
- 西野 晃弘
- 渡邊 雄志
- 佐藤 孝健
- 岩下 智博
- 山本 亮

- 野見山 正誉
- 藤山 大樹
- 柴田 大地
- 大内田 拓朗
- 秋吉 宏徳
- 白水 章文
- 藤木 大治
- 林田 大地
- 高倉 大宗
- 吉田 愛仁
- 竹下 虎之介
- 雲井 健之
- 瀬戸 繁貴
- 石戸 浩貴

2024年1月現在

一般社団法人飯塚青年会議所 2024年度 正副メンバー



第71代理事長
深田 良介

㈱深田環境衛生
2014年5月入会

直前理事長
多賀谷 勇氣

(一社)ハッピースマイル
ホールディングス
2009年12月入会



特任顧問
麻生 将豊

麻生商事㈱
2011年9月入会



副理事長
吉浦 俊次

㈱ヨシウラ
2016年4月入会



副理事長
伊藤 哲

㈱WORKERS CARE
2018年10月入会



副理事長
尾方 佑輔

Life Time Suppoter
2019年7月入会



専務理事
中村 崇修

NPO boisoon
2019年8月入会



常務理事
小林 奈々

㈱プリンス興商
2015年9月入会



常任理事
栗原 一喜

㈱久栄
2022年10月入会



事務局長
渡邊 雄志

㈱渡邊硝子建材
2023年5月入会



事務局次長
佐藤 孝健

㈱KRC
2023年3月入会



監事
原中 茂雄

㈱KRC
2011年12月入会



監事
新戸 健一

メットライフ生命保険㈱
2013年8月入会



監事
野村 昇平

飯塚信用金庫 福岡地行支店
2018年4月入会



監事
小川 陽幸

オガワ設備工業㈱
2022年5月入会





副委員長 西野晃弘

(医)ユーアイ西野病院
2022年12月入会



石戸浩貴

石戸産業㈱
2022年6月入会



岩下真也

㈱イワデン
2022年7月入会



佐藤健太

佐藤測量設計㈱
2023年12月入会



久保勝志

飯塚信用金庫庄内支店
2018年4月入会



岡松侑希

㈱みゆき
ストロベリーファーム
2023年3月入会



崎村 悟

ふみな工業㈱
2019年7月入会



荻原優太

㈱ステップ
2023年12月入会



宗 和彦

やしま整骨院
2011年4月入会



西岡 輝

友信建設㈱
2022年12月入会



春田祐太郎

㈱春田建設
2019年4月入会



古谷和雅

㈱古谷金物店
2011年5月入会



矢野英介

中華そば麺すけ
2021年11月入会



吉浦大貴

(株)西日本シティ銀行
飯塚支店
2023年4月入会

嘉麻の魅力 発信委員会

アクションプラン
年間フレーム



委員長
笠置 一星

(有)笠置建工
2020年4月入会



副委員長 野見山正誉

南光邦水道工事業 / 2023年6月入会



大内田拓朗

大内田産業㈱
2023年8月入会



木村拓也

T.K Garage
2022年11月入会



古賀浩一

㈱セントコーポレーション
2010年7月入会



敷田時丸

福岡観光バス㈱
2019年8月入会



柴田大地

肉風俗 裏道
2023年7月入会



根笈大樹

㈱メディカルラボ
2022年6月入会



平山裕也

㈱福岡銀行飯塚支店
2023年12月入会



藤山大樹

BAR SHIMAUMA
2023年7月入会



山内一也

㈱ネットワーク
2021年11月入会



渡辺紘一郎

(有)嘉穂郡社会福祉協会
2018年4月入会

ビジネス例会 委員会

アクションプラン
年間フレーム



委員長
草田 成吉

(株)キョーワホールディングス
2020年4月入会



副委員長 山本 亮

SHY㈱ / 2022年12月入会



青柳宏明

南大丸装飾工業
2019年7月入会



浅田智之

ダイワ印刷㈱
2012年7月入会



今吉義之

㈱パーソナルネット
2009年7月入会



岩下智博

㈱福岡中央銀行
2023年4月入会



島袋 貢

ダイニングパーク
2020年12月入会



能登洋晃

㈱かいた環境開発工業
2016年11月入会



福丸奈々美

なつきの司法書士
行政書士事務所
2021年12月入会



伏屋和将

明治安田生命保険(株)
2022年1月入会



本河実平

㈱本河住建
2014年4月入会



前田美紀

㈱ニッソー
2015年11月入会



山上 諒

㈱アイックス福岡
2021年5月入会

未来創造 委員会

アクションプラン
年間フレーム



委員長
今里 啓二

(有)サンナイ調剤薬局
2021年4月入会





副委員長 曾根諒太

福岡県議会議員江藤秀之事務所
2021年8月入会



秋吉宏徳

能処 のり助
2023年8月入会



遠藤訓之

親和電設工業㈱
2014年8月入会



小田裕亮

㈱明豊舗道
2017年12月入会



國本洋規垂

マルマツ産業㈱
2018年8月入会



鈴木真悟

㈱鈴木建設
2021年11月入会



白水章文

飯塚みらい歯科
2023年8月入会



芹野智之

たこ八
2019年7月入会



田中大輔

㈱BONDS
2021年10月入会



西本 渉

西本工務店
2019年4月入会



藤川 聡

BoschCarService
藤川自動車㈱
2017年7月入会



藤木大治

シブラタ生命保険㈱
2023年3月入会



前田義之

㈱前田商事
2021年11月入会



山崎 大

㈱きど葬祭
2022年4月入会

サステナブル 桂川創造委員会

アクションプラン
年間フレーム



委員長
高田健太郎

たかた呉服店
2019年11月入会



副委員長 竹下虎之介

㈱日本ダストサービス / 2023年9月入会



今村優太

㈱やしま不動産
2020年10月入会

会員開発例会 委員会



大谷 翼

NPO法人LIGアカデミー
2021年5月入会



雲井健之

台所 コモイ三十五
2023年7月入会



坂口遼太郎

喜怒哀楽酒場 うまづら
2019年4月入会

アクションプラン
年間フレーム



委員長
大野 恭介

CLUB ELFIN
2022年8月入会



佐藤涼介

㈱佐藤商店
2022年1月入会



瀬戸繁貴

SHY㈱
2022年11月入会



高倉大宗

たかくら整形外科
2023年3月入会



福澤 翔

㈱朝日化成
2021年1月入会



吉田愛仁

㈱JIN
2023年3月入会

総務広報委員会



副委員長 田中亮平

㈱片島屋
2019年8月入会

アクションプラン
年間フレーム



委員長
鶴原 賢

鶴原液化ガス㈱
2018年7月入会



会員拡大委員会



副委員長 林田大地

林田コンクリート工業㈱
2023年3月入会



鹿瀬純一

㈱東海エース保険
2021年6月入会

アクションプラン
年間フレーム



委員長
吉原 正和

高橋義彦事務所
2015年10月入会



Jci Aizuka CLUB ACTIVITIES

飯塚青年会議所 クラブ紹介



じゃがいもクラブ(ゴルフ部)

Golf

じゃがいもクラブってなに?と思われる方もいるかと思いますが。ゴルフというスポーツを通じて、青年会議所を卒業しても「友情と修練」の場であることを忘れず、「現役とOBの架け橋」の役目を果たすこともでき地区大会や全国大会もあるため、腕自慢の方は是非ご参加お待ちしております。



サッカー部

Football

2023年度は九州地区JCサッカー選手権が飯塚で開催され、皆んなで切磋琢磨し大会の運営とサッカー大会にも出場しました。結果的には前回大会の霧島大会に続き、大会連覇を果たすことができました。この勢いで次回も優勝目指して活動していきますので、是非ともサッカーも楽しみながら懇親を深めていきましょう。皆さまの入部お待ちしております。



野球部

Baseball

野球部は経験者だけでなく野球をしたことがない未経験者も含めて現在30名程在籍しています。普段のJC活動以外でも部活動を通じて交流を深めることができるのも部活動の大きな魅力だと思います。毎年、第2エリア(宗像JC、直方JC、田川JC)の4LOMで野球大会が開催され、エリア大会で勝ち上がっていくと、福岡ブロック大会、九州エリア大会、全国大会に繋がります。2023年度は第2エリア大会で優勝し、福岡ブロック大会まで進出しました。野球部では、日々の運動不足を解消させたい方や、昔野球してたけど久しぶりやりたくなった方等々、経験者、未経験者は一切問わず新メンバーを絶賛募集中です。私たちと一緒に野球を通じて楽しく交流を深めてみませんか？



飯塚青松会(茶道部)

Tea Ceremony

飯塚青松会とは平成28年11月6日に発足した裏千家茶道部であり、全国茶道同好会に所属し飯塚青年会議所公認の部活動になります。2023年度の新春祝賀会では、現役もシニアも合同でお茶席を設けて、来場者の方々にお茶を振舞わせていただきました。お茶を通じ、人と人との交流を図るとともに、「おもてなし」の精神、真髄を学び、現役はもちろん、シニアとの交流が多い部活です。イベントなども定期的に行い、お茶を知らなくても楽しめる和気あいの雰囲気です。また、裏千家の御家元とお茶会などもあり、全国のJCメンバーともお友達になれる機会があります。是非、気軽に遊びに来て下さい。



Graduate Member's Voice

2023年度 卒業生の声

高橋 義彦 takahashi yoshihiko

9年前、一敗地に塗れ、自分にとって一番苦しい時期に飯塚JCとのご縁を頂きました。目まぐるしく変化する時代の中で脈々と受け継がれてきた飯塚JCのDNA。地域の課題に向き合い、事業を構築しながら解決に導く活動は、自らの成長だけでなく、共に汗を流し、涙し、笑い合った言葉に出来ない程の感動が沢山ありました。そして何より心から尊敬する先輩や一生大切にしたい仲間たちと出会う事ができました。一緒に過ごした時間は私にとって人生の宝物です。「飯塚JCは大変」とよく言われます。沢山の事を学び人として大きく変わる場所であると私は思います。頑張っている現役メンバーの皆様には、一片の悔いも残らぬ様に「今」という青春に挑み続けていただきたいと思います。

私に関わって下さった先輩・後輩の皆様のお支えにより、無事に卒業ができますことに心から感謝申し上げます。

大村 洋祐 oomura yosuke

今年で入会から10年となりました。あつという間だったなというのが正直な感想です。しかしその10年が自分の人生の中で特別な「学び」や「友情」を育むことができ本当に楽しい思い出いっぱいだったなと卒業生として振り返っています。

入会当時は「すごい人」たちの中に何もわからないまま飛び込み、先輩方が地域のために長い時間をかけ議論し事業構築していることに只々圧倒されていました。その状況下でとにかく時間が許す時は必ず参加し多くを学ぼうと決めていました。結果、楽しみや友人も増え、委員長という役職も経験させて頂き自身の事業もやり遂げることができました。その中で仕事やプライベートに活かせることも学ぶことができ、さらには多くの人とのご縁もいただけたと感じています。現役メンバーの皆様も苦しいことに自ら挑み、JCのその若さを地域のために活かして欲しいです。長い間お世話になりました。

本松 弘樹 Motomatsu hiroki

家業を継ぎ、地域との関わりがない私に先輩からJCの入会を勧められ、「はい」か「YES」しか選べなかった日を昨日のように感じます。入会しての3年間、できる限りJC活動に取り組みました。「もしJCに入っていなかったら」卒業が近くなり、ふと考えることがあります。業局の狭い世界で仕事をして人生を歩んでいましたが、自分が住んでいる地域については深く考えていませんでした。年齢も職業も社会的な地位も違う人々が集まり「このまちの明るい豊かな社会」を達成するために一生懸命に取り組むこの団体は、私の人生観に影響を与えたくさん成長させてくださいました。

また、今年は、役職をお預かりさせていただき、「参加する側」、「企画する側」両方を経験することができました。いいことも嫌なことも真剣に議論をした日々を戻れない過去と感じるのは少し残念に思います。「はい」か「YES」しか選べなかった日は、今となっては、真剣に取り組んだからこそJCに入会して良かったと変わりました。ここでは自分が望めば成長の機会を与えてくれます。躓いても助けてくれるかけがえの仲間にも出会えます。ぜひ、皆様も後悔なく卒業をお迎えください。3年間大変お世話になりました。

前山 剛哉 maeyama takeya

飯塚JCに2017年に入会させていただき、今年で7年目となりました。これまで多くのメンバー、そして先輩の皆様を支えられ、本当に楽しいJCライフを過ごさせていただきました。在籍していた7年間で様々なご縁がありJC活動をしていく中で、私自身この7年間で成長する事ができ、飯塚JCに入会して本当に良かったと思っています。

現役メンバーの皆様。仕事や家族を大切にしながらも、JCも全力で楽しんで頑張ってください。挑戦する事により必ず今の自分より成長する事ができます。私は今年で卒業となりますが、これまで私に関わってくださいました、すべての皆様から受けた恩を、後輩達に報えるように、これからもシニアとして皆様の活動を心より応援すると共に、私にできる事があれば何でも協力したいと思いますので、いつでもご連絡ください。7年間本当にありがとうございました。

村上 貴俊 murakami takatoshi

私は3年半のJC生活でした。入会の5年ほど前から声を掛けて頂いていましたが、家業に戻ったばかりで入会することを躊躇っていました。今振り返ると、もう少し早く入会していれば良かったという思いです。なぜなら、JCにはチャンスが沢山転がっていて、掴むも掴まないも自分次第という自己成長ができる団体だったからです。しかし、短い期間でも沢山の仲間ができました。仲間が増えることで、人生の選択肢が増えたと思っています。

また、委員長という役職も経験させて頂き、JCのお陰で自己成長ができました。時間の使い方・物事の考え方・人との付き合い方など、学んだことは沢山あります。その中でも、私が一番感謝していること、それは素晴らしい先輩方・仲間・後輩に恵まれたことだと感じています。卒業とはなりますが、これからもこの青年会議所で出会えた「人」という財産を大切に生きていこうと思います。みなさん、本当にお世話になりました。これからの益々のご活躍、陰ながら応援しています。そして、たまには飲みに行きましょう。

2023年度は20名の新メンバーが入会!!

New Member's Voice

2023年度 新入会員の声

新入会員のリアル

MEMBER

01



高倉 大宗 takakura hiromu

私は飯塚JCに入会するまで、正直なところ何をしている団体なのか全く知りませんでした。実際に入会し活動に参加してみて、子供の頃から身近にあったイベントなどが青年会議所の活動によって成り立っていたことに驚き、地域のために活動している同世代の方々があんなに沢山いることに感動しました。また他業種の方の話を聞くことができたり、例会の中でのアワーからヒントを頂いたことや、活動を通じた出会いによって自社の新たな事業構築のきっかけにもなりました。今後そうした活動に参加することで、様々な人の価値観に触れ自己成長を行いながら、地域の発展に寄与していきたいと考えています。

MEMBER

02



吉田 愛仁 yoshida manato

飯塚JCに入会して1年が経ちました。この1年間で私は、チームでの協力の重要性や異なる考え方を持つ人々とのコミュニケーションの大切さを学びました。最初は何も知らない私でしたが、先輩方の温かなサポートや仲間との共同作業を通じて、多くのことに気づくことができました。特に、多様性を尊重し合うことで、より良いアイデアや解決策が生まれることを実感しました。

これらの経験を通じて、私は今後、飯塚JCの活動に更に積極的に取り組むことを決意しました。具体的には新しい事業の企画や運営に関わることで、さらに多くの人々とのつながりを持ち、共に成長していきたいと思っています。新入会員としての私の経験が、これからの候補者の方々の参考になれば幸いです。一緒に飯塚JCでの活動を通じて自分自身を磨き、社会に貢献していきましょう!

MEMBER

03



柴田 大地 shibata daichi

飯塚JCに入り、半年が経ちます。例会や委員会、事業に参加させてもらい沢山勉強させて頂いております。今自分自身が経営者としてトップでやっていますが、飯塚JCに入り、理事長および理事メンバー、先輩方と携わり、自分を見つめ直すことができました。そして様々な業種の方とお話ができて、色んな視点から物事を考えることができるようになり、仕事とは別でチャレンジできることも多くあり、自分の成長の場所になっています。これから、飯塚JCを盛り上げて行きたいと思います。みなさんも仲間になり、一緒に地域を守りあげていきましょう。

MEMBER

04



白水 章文 shirouzu akifumi

飯塚JCに入会して、様々な業種の方との関わりのなかで多くのことを学ばせていただいております。準会員期間中に様々な委員会の会議に参加させていただく機会があります。各委員会ごとに目的意識を持って話し合いがなされていて、多種多様な意見が飛び交い、そのどれもが飯塚の発展のための意見であり感銘を受けました。

私は仕事の性質上、医療という極めて専門的な部分を深く学ぶ事が多いため、飯塚JCの皆様が話されているような大きな視点での話し合いはとても刺激的であり、もし飯塚JCに関わってなかったら、そのような大きな視点で物事を捉える思考がないままであったと思います。今後も様々な取り組みを通して飯塚JCの皆様と私自身も成長できたらと考えております。

MEMBER

05



岡松 侑希 okamatsu yuki

私は農業生産を生業としています。飯塚JCに入会するきっかけとなったのは、友人から誘われたことで、それまでは飯塚JCのことは知りませんでした。

入会して委員会に参加することで、事業の目的や手法について活発に議論が行われ、色々な考え方や自分の意見への反応などを聞き、学びになっています。またこの地域を良くしようと活動することは、とても重要なことだと感じました。

飯塚JCで様々な経験をして多くの方と交流することで、自分自身が成長し、私の仕事である農業で地域の約に立てる事業ができるようにしたいと思います!



一般社団法人飯塚青年会議所



このまちの未来を変えるために
一緒にチャレンジをしよう!

仲間募集中

青年会議所は20歳から40歳までの情熱ある青年の団体です。

「明るい豊かな社会」の実現を目指す青年会議所運動の基本の一つには、地域の産業を担う青年経済人が人的ネットワークを広げ、さらには青年会議所の各種事業を通じて切磋琢磨し、厳しい経済情勢のなかにあっても力強いリーダーシップを発揮できる“人財”を“開発”することにあります。「一人でも多くの、志を高く持つ仲間に出会いたい!」との一念で会員拡大事業に取り組んでおります。

メンバー一同、共に夢を語り合える仲間として、青年会議所の扉を開いて頂けることをお待ちしております。

対象者：飯塚市、嘉麻市、桂川町に住所または勤務地を有する20歳から37歳までの方であれば男女は問いません。詳しくは下記一般社団法人飯塚青年会議所事務局までお問い合わせください。

ホームページは
こちら!



Facebookは
こちら!



Instagramは
こちら!



お問い合わせ先

〒820-0033 福岡県飯塚市徳前25番地 飯塚卸商協同組合会館2F TEL 0948-23-0292 FAX 0948-24-3471
E-mail info@iizuka-jc.com http://www.iizuka-jc.com/ <製作：会員拡大事務(尾方・春田・矢野)>